

「JENESYS2024」日中大学生オンライン座談会

1. プログラム概要

【目的】

2024年8月に訪日した中国青年公益事業交流団が、来日期间中に台風が直撃し、第2分団が予定していた大学訪問・交流が実施できなかったため、2024年7月及び11月に訪中した日本大学生訪中団の日本大学生との同世代交流を行う。オンライン交流を通し、日中友好の意義を深める他、相互理解を深め、草の根交流を促進することで日本と中国の更なる関係強化を目的として実施する。

【参加者】中国側：「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団第2分団 団員 16名

日本側：「JENESYS2024」日本大学生訪中団 団員を中心とした大学生 13名

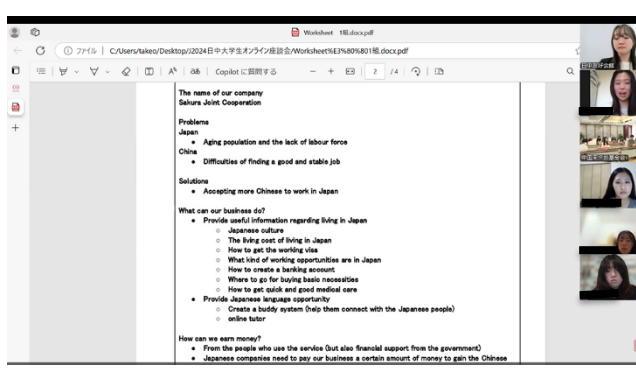
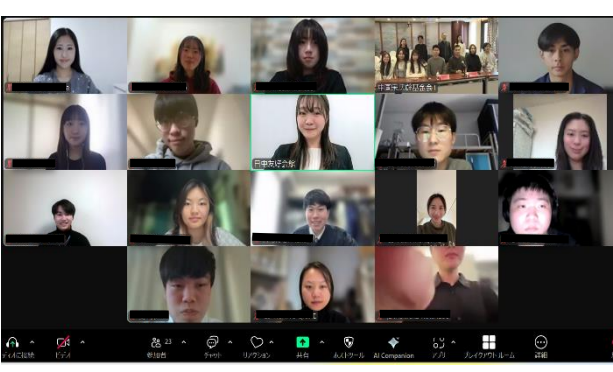
【日程】

■オンライン交流プログラム

2025年3月18日（火）

3月18日	① 趣旨説明、参加者紹介 ② グループディスカッション 【テーマ】 ・このグループのメンバーで、起業して新しいビジネスを始めるなら何ができるか。 ・将来残していきたい伝統文化は何か。その伝統文化を守るために、私たちは何ができるか。 ・日中の若者にもっと日中交流活動に興味を持ってもらうためにはどうしたらいいか。 ③ グループ代表発表
-------	--

2. 記録写真

	
グループ代表発表	記念撮影

3. 中国側参加者の感想（抜粋）

◆中国人メンバーが日本文化に興味を持っているだけでなく、日本の大学生も中国の伝統文化に非常に深い関心を持っており、中国人としてとても誇りに思い、幸せな気持ちになった。私たちは全員大学生なので、学校のコンテンツ等を活用して、中日の文化等を宣伝していきたいと思う。

◆このオンライン交流会を通じて、若者は中日友好の受益者であるだけでなく、継承と革新の主力となるべきであることを深く認識しました。より多くの若者が「異文化対話者」になれば、中日友好の未来は両国を結ぶ海のシルクロードのように、果てしなく続くものとなると私たちは固く信じています。

4. 日本側参加者の感想（抜粋）

◆日本文化の多くは中国の影響を受けているものの日本で独自の変化を遂げている。ルーツとなった中国での文化を中国側の学生から教えてもらい、日中文化の違いに面白さを感じた。

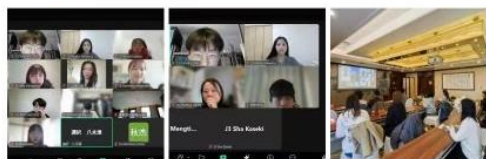
◆中国の学生と実際にオンラインを通して交流することで、日中間の関係向上、また日本と中国の友好の架け橋となる人材になるために、両国の意見交換を通して具体的な意見を深めていく貴重な時間となった。

5. 参加者の対外発信、報道記事等（抜粋）



线上参加了中日青年大学生交流会，与五名日本青年共同讨论了关于中日传统文化的传承与保护的相关课题，是一次非常友好的合作!

令我没想到的是，暑假因台风被搁置的行程，日方却在半年后重新组织，十分惊讶



中日交流：半年后的应约

去年夏天有幸参加宋庆龄基金会组织的中日青年线下交流活动；但当时因台风的关系，没有与同龄朋友进行交流，好在半年后我们还是在线上见面了！最终，我们选择了“传统文化保护”作为讨论主题。由于中日同属东亚文化圈，彼此在许多方面都有可借鉴之处，这也让我们的交流更加丰富、话题更加多元。虽然双方都是基于各自的文化立场展开讨论，但彼此想要传达的核心观点都准确地表达了出来，交流也因此更加深入和有意义。

2025 年 3 月 18 日（中国側参加者微信） 5 人の日本学生と「日中伝統文化の継承と保護」についてディスカッションしました。とても友好的に協力しました。 夏に訪日した際は、台風の影響で日本大学生との交流はできませんでしたが、日本側が再度このような交流プログラムを計画してくれたことに驚きました。	2025 年 3 月 18 日（中国側参加者微信） 中日交流：半年後の約束 去年の夏、私は光栄なことに中国宋慶齡基金会の中日青少年交流に参加しました。しかし、当時台風の影響で日本大学生と交流することができませんでした。しかし、それから半年後、オンライン上で会うことができました。 私たちは「伝統文化の保護」をディスカッションテーマに選びました。中日は同じ東アジアの文化圏に属するため、お互いに様々な面で参考になる点があり、これは、私たちの交流をさらに豊かにして話題を多様にしました。 双方とも各自の文化的立場に基づいて議論を進めましたが、お互いに伝えようとしている核心的部分は正確に伝えることができ、交流はより深く、有意義なものになりました。
--	--

実施団体名：（公財）日中友好会館